

□令和5（2023）年度 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）自己点検・評価

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	応用基礎レベルにおける各科目の履修・修得状況は以下のとおりである。 ・ AI・データサイエンス活用論 履修者18人、修得者13人(修得率72.2%) ・ 数学基礎 履修者62人、単位修得者57人（修得率91.9%） ・ プログラミング入門 履修者42人、修得者31人（修得率73.8%） ・ アルゴリズム 履修者37人、修得者33人（修得率89.2%） ・ 機械学習 履修者48人、修得者43人（修得率89.6%） ・ データサイエンスプログラミング演習 履修者37人 修得者34人（修得率91.9%） ・ メディア処理 履修者23人 修得者21人（修得率91.3%） 履修者に対する修得率は、各科目の状況を確認すると7割以上である。科目によっては履修者が少ない科目もあるため、履修指導等を通じて、履修を勧奨していく。
学修成果	各科目の授業アンケート結果から以下のとおりである。 ①授業を通じて学習した内容や分野への興味・関心を持った割合 ・ アルゴリズム 81.8%（9/11） ・ 数学基礎 100%（30/30） ・ 機械学習 92.9%（13/14） ・ データサイエンスプログラミング演習 92.3%（12/13） ・ AI・データサイエンス活用論 94.4%（17/18） ・ プログラミング入門 92.9%（13/14） ・ メディア処理 100%（5/5） ②学修成果の満足度（率） ・ アルゴリズム 81.8%（9/11） ・ 数学基礎 93.3%（28/30） ・ 機械学習 78.6%（11/14） ・ データサイエンスプログラミング演習 92.3%（12/13） ・ AI・データサイエンス活用論 94.4%（17/18） ・ プログラミング入門 85.7%（12/14） ・ メディア処理 100%（5/5） 総合的にみて8割以上の学生が、これまで以上にそれぞれの科目の授業を通じて学習した内容や分野へ興味・関心を抱いており、学修成果の満足度においても同様に高い結果がみられ、学修成果を実感している。

□令和5（2023）年度 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）自己点検・評価

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	各科目の授業アンケート結果から以下のとおりである。 ①内容に対する総合的な理解・満足した割合 ・アルゴリズム 100% (11/11) ・数学基礎 93.3% (28/30) ・機械学習 100% (14/14) ・データサイエンスプログラミング演習 100% (13/13) ・AI・データサイエンス活用論 94.4% (17/18) ・プログラミング入門 92.9% (13/14) ・メディア処理 100% (5/5) 各科目において9割以上の学生が、理解・満足度が高い。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	授業アンケート結果を踏まえ、今後の学修につながる助言や教員からの声（意見）など、後輩等他学生の参考になるように教学情報システムを通じて公開している。また、新入生オリエンテーションにおいて、履修を推奨している。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	・各学期のオリエンテーションにおける履修指導において、説明を行い履修を促している。 ・ホームページ等を通じて、現代ビジネス学部における各科目が数理・データサイエンス・AI教育プログラム（MDASH応用基礎）であることを周知し、履修の参考になる情報が適切に掲載されている。
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	本プログラム科目は、令和4年度より開講している科目であるため、履修し、単位を修得した者で、社会に輩出した学生はいない。 今後、進路・就職支援を行う教学部学生支援課において、就職先へのアンケート実施や企業等への訪問により、評価を伺い、教育プログラムに反映させる。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	・兵庫県宝塚市のCXO（変革推進最高責任者）の業務に携わっている人物から、本教育プログラムにおける意見・アドバイスもいただきながら、さまざまな角度や視点から内容・手法等の改善を行っている。 ・卒業生の就職実績のある企業の人事担当者に本プログラムの内容等を説明し、意見を聴取しながら、適宜教育プログラムに反映、実施している。

□令和5（2023）年度 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）自己点検・評価

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	各科目の授業アンケート結果から以下のとおりである。 ①授業を通じて学習した内容や分野への興味・関心を持った割合 ・アルゴリズム 81.8% (9/11) ・数学基礎 100% (30/30) ・機械学習 92.9% (13/14) ・データサイエンスプログラミング演習 92.3% (12/13) ・AI・データサイエンス活用論 94.4% (17/18) ・プログラミング入門 92.9% (13/14) ・メディア処理 100% (5/5) ②学生が授業に主体的に取り組んだ割合 ・アルゴリズム 100% (11/11) ・数学基礎 90% (27/30) ・機械学習 85.7% (12/14) ・データサイエンスプログラミング演習 92.3% (12/13) ・AI・データサイエンス活用論 83.3% (15/18) ・プログラミング入門 92.9% (13/14) ・メディア処理 100% (5/5) 各科目8割以上の学生が、学ぶ楽しさや学ぶ意義を感じ、興味・関心が高まった。また、8割以上の学生が、授業に主体的に取り組む、学ぶ楽しさをや意義を感じていることが窺える。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	各科目の授業アンケート結果から以下のとおりである。 ①授業の進め方や内容の総合的満足度（率） ・アルゴリズム 100% (11/11) ・数学基礎 93.3% (28/30) ・機械学習 100% (14/14) ・データサイエンスプログラミング演習 100% (13/13) ・AI・データサイエンス活用論 94.4% (17/18) ・プログラミング入門 92.9% (13/14) ・メディア処理 100% (5/5) 9割以上の学生が、授業の進め方や内容に満足しており、工夫しながらわかりやすい授業に努めている。